

宝生会 月並能

平成三十年十二月九日(日) 午後一時始

演目の解説

13:00

雨 月 上 俊樹 優

ワキ 森 常好 大鼓 亀井 實 太鼓 桜井 幸 弘 小鼓 田邊 恭 資 笛 一 噌

後見

前田 尚廣 間 山本 則孝

澤 戴 田 宏 司

小 倉 健 太 郎

14:20

福の神

山本 則俊

山本 則重

地謡

山本 則孝

14:55

鉢 木 山内 崇生

ワキ 殿田 謙吉

大鼓 曾和 正博

小 松 田 弘之

後見

藤井 雅之 野月 聡

高 東 橋 憲 正

大 亀 友 順

へ 休憩 十五分

16:45

乱 シテ 佐野 玄宜 弘宜

和合

ワキ 野口 敦弘

大鼓 柿原 光博

小 藤 田 次 郎

後見

宝生 和英 和久 太郎

小 亀 井 晋 也

小 倉 伸 二 郎

終演予定 午後五時三十分頃

能「雨月」(うげつ) 住吉詣でを志す西行法師は、旅の途中一夜の泊りを求めます。その家の老人夫婦は、初めは宿をことわりませんが、なにやら別に仔細の在るようす。西行が尋ねると、翁は雨音がききたいので屋根の庇を葺こうといひ、娘は名月を見たいので庇を葺くまいといひう風流な問答でした。この問答を見事な歌で解決した西行は泊めてもらうことになり、その夜の夢に翁は住吉明神の本体を現し、舞を舞い、和歌の徳を讀えて去って行きます。

狂言「福の神」(ふくのかみ) 大晦日の夜、誘い合わせて福の神へ向かう二人の男。参詣し「福は内、鬼は外」と豆を打ち嘯すところへ福の神が姿を現します。酒好きな福の神は、お供えの神酒を求め、二人の熱心な参拝を褒めます。そして、豊かになる秘訣は心の持ちよう、早起きをし、慈悲の心を持ち、来客は歓迎し、夫婦仲では腹を立てず、そのうえ福の神に酒をたくさん供えてくれるなら、裕福にしてやらねばならぬだろう、と言つて楽しんで笑います。

能「鉢木」(はちのき) 旅の僧が上野の佐野の辺りに差し掛かり、あまりの大雪に宿を求め、外出から帰った主人に一度は断られてしましますが、妻の口添えもあり泊めてもらいます。暖をとるため秘蔵の鉢の木を薪にくべる主人に感銘した僧が名を尋ねると、佐野源左衛門常世と答へ、一族に所領を横領されて貧困を強いられるという概を語り、鎌倉に何かあれば直に駆けつけるといふ東に集合を掛けると、その言葉通りに馳せ参じた常世を呼び、自らの正体を明かして横領された所領と、「梅桜松」三本の鉢の木にちなんだ三箇所の莊園を与えます。

能「乱和合」(みだれ)

楊子の市で酒を売る孝行の男、高風の処に、いつも立ち寄り酒を飲んで行くものがあつた。不審に思つた高風が名を尋ねると、海中に住む「狸々」と答へ親孝行な高風に、酌めども尽きぬ酒壺を与えるので瀋陽の江まで来るようにと言います。高風が瀋陽の江で待つていと、狸々が現れ、舞を舞つて去つて行きます。能は高風が瀋陽の江に行くところから始まり、「狸々」の常の中ノ舞が、波の上を戯れるような特殊な足遣いをする「乱」という舞に変わり、そのまま曲名にもなりました。小書「和合」は夫婦和合の意味で、シテが二人になり乱を相舞します。

◎入場料

S席 正面 / 8,000円 A席 正面 / 7,000円 B席 脇正面 / 6,000円 C席 中正面 / 5,000円 D席 自由席 / 3,000円 学生割引 全席種1,000割引 ※30歳未満の学生の方

◎チケットお申込先

宝生能楽堂オンラインチケット http://www.cnplayguide.com/hosho/ 宝生能楽堂事務局 03-3811-4843(火曜~日曜10時~17時) カンフェティ (五雲会のみ販売) 0120-240-540(平日10時~18時) https://www.confetti-web.com/

Table with columns: 国 (白頭), 東 (栖), 翁 (北), 次 (武雄), 次回予告 (山内 崇生, 田崎 隆三, 千歳 金井 賢郎), 平成三十一年一月十三日(日) 午後一時始